

しぶり汁だけで味と色を出すため試行錯誤。
きゅうりの皮をパウダー状にすることで
食感と色を両立させました。
地元須賀川産の米粉を使うなど、
現在も改良を続けています。
進化するかつば麺に乞うご期待！

夏はやっぱり麺が美味しい！須賀川のご当地麺に大注目！

暑さで食欲が落ちがちな季節。そんな時に食べたくなるのがサッパリと食べやすい麺料理。

須賀川市の「かつば麺」は、体を冷やすと言われるきゅうりを使用。暑い夏にピッタリです。

取り扱い店舗は市内十九店舗。お店によって具材が変わるので食べ歩きも楽しめます。

ご当地麺の誕生

すかがわ岩瀬産きゅうりは、夏秋露地栽培の収穫量が日本トップクラス。ご当地食材といつても過言ではありません。また、須賀川市は昔から小麦の栽培が盛んな地域で、小麦を使った産業が発展。昭和初期は五十近くもの麺工場があつたそうです。

十年ほど前、須賀川市商工会は特産のきゅうりと、昔から盛んだった麺づくりに着目。オリジナルな麺づくりを須賀川市内の製麺所、井桁屋本舗と高橋製麺に依頼。ご当地麺の「かつば麺」が誕生しました。

▲すかがわ岩瀬産きゅうり

▲すかがわ岩瀬産きゅうり

須賀川の老舗製麺所

井桁屋本舗、高橋製麺とともに明治時代創業の老舗。こだわりと技術が美味しい麺を作り、地元に愛されてきました。八幡町の井桁屋本舗は、そば処大黒亭を併設。

井桁屋本舗、高橋製麺ともに明治時代創業の老舗。こだわりと技術が美味しい麺を作り、地元に愛されてきました。八幡町の井桁

屋本舗は、そば処大黒亭を併設。みやすい平打ちの生麺。須賀川産コシヒカリの米粉を用いたモチモチの麺の上には薄くスライスした岩瀬産きゅうりが。その上にカボチャなどの夏野菜が彩りよく盛られ栄養満点。中央には

「かつばの卵」と名付けられた揚げ卵が鎮座。まず最初に「ママだれ

をかつばの卵のまわりにかけて

いただき、次に卵を崩してとろり

り出てくる黄身を混ぜてパクリ。

さらに添えてあるカラシ味噌を

つけて、と味の変化が楽しめます。

監事・店長の高久田信喜(たかく

だのぶき)

さんは「メニューの可

能性が広がる麺」と表現。さわやかな味の麺はどんな食材とも相性抜群。様々な可能性を秘めた麺は今後の展開が楽しみです。

監事・店長の高久田信喜(たかくだのぶき)さんは「メニューの可能性が広がる麺」と表現。さわやかな味の麺はどんな食材とも相性抜群。様々な可能性を秘めた麺は今後の展開が楽しみです。

監事・店長の高久田信喜(たかくだのぶき)さんは「メニューの可

能性が広がる麺」と表現。さわやかな味の麺はどんな食材とも相性抜群。様々な可能性を秘めた麺は今後の展開が楽しみです。

監事・店長の高久田信喜(たかく

だのぶき)さんは「メニューの可

能性が広がる麺」と表現。さわやかな味の麺はどんな食材とも相性抜群。様々な可能性を秘めた麺は今後の展開が楽しみです。

監事・店長の高久田信喜(たかく